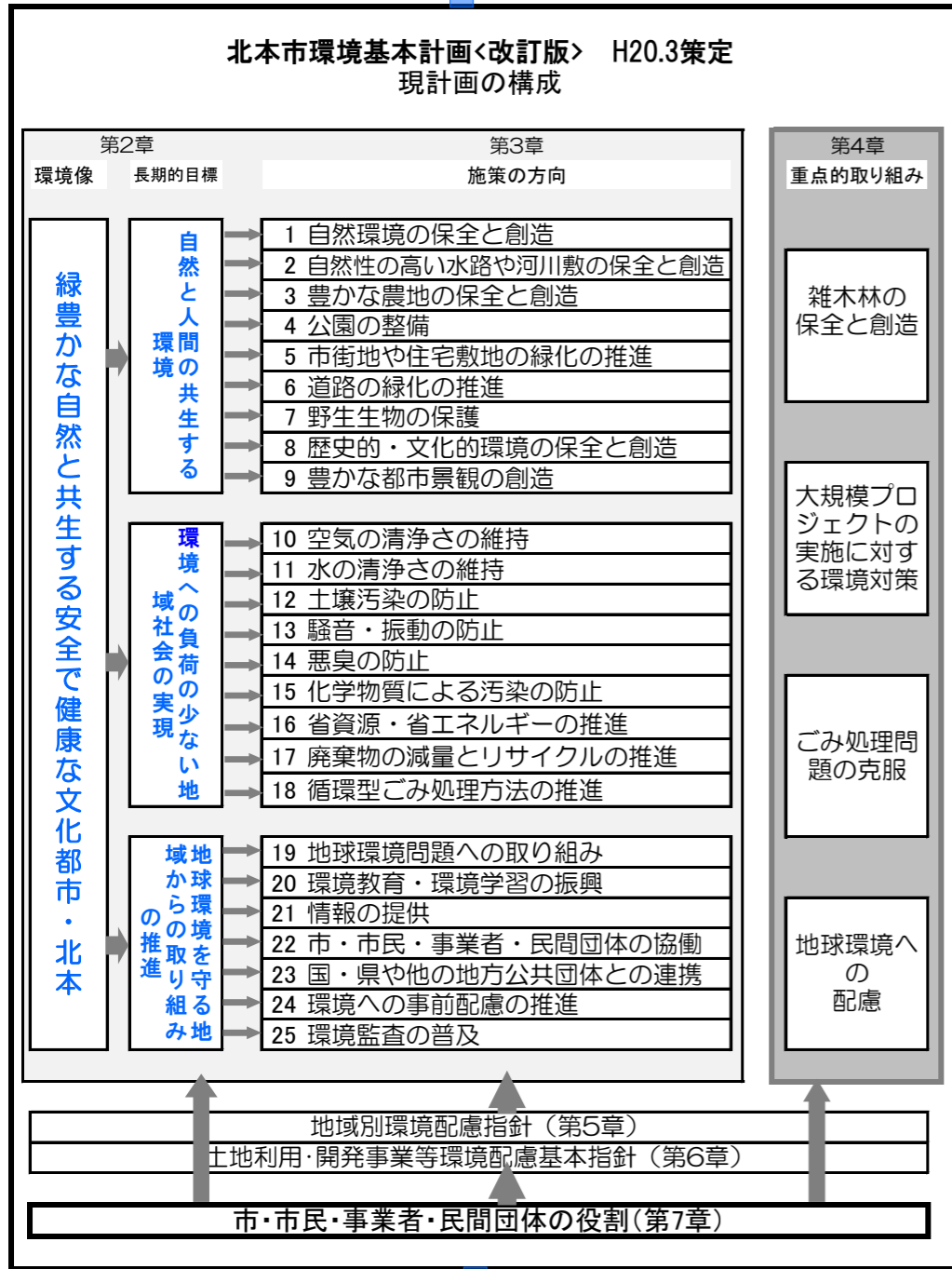
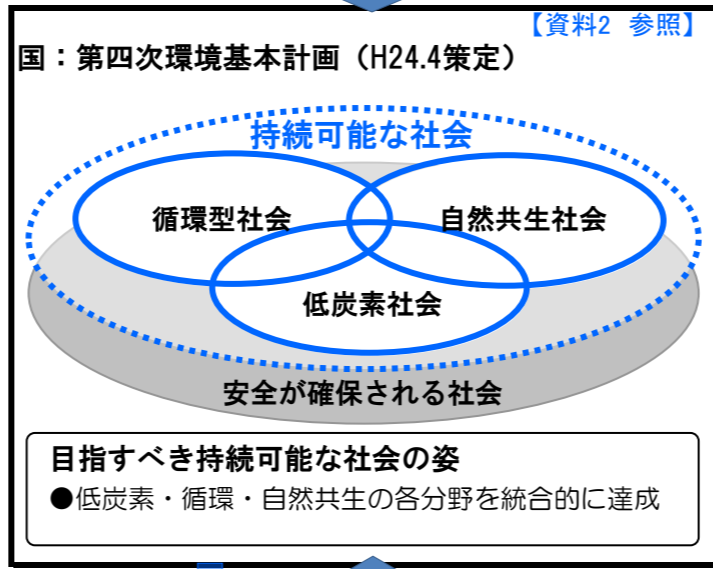


市町村の環境基本計画に対する一般的な課題  
 ○計画に対する理解が低い(計画を知らない、普段聞かない等)  
 対象範囲及び関連計画が多岐⇔計画期間内で何をやるかイメージしにくい  
 ○関連個別計画(一般廃棄物処理基本計画、緑の基本計画、温暖化対策実行計画など)との関係(計画の位置づけ、役割)が分からない等

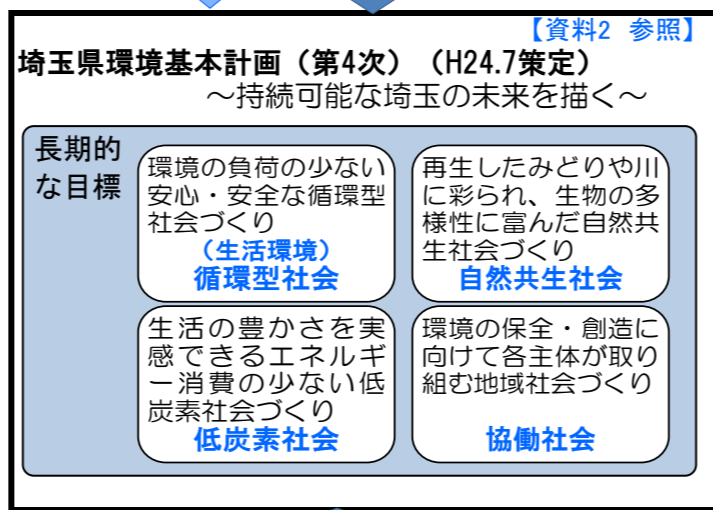


最近の主な環境問題の動向

- 地球温暖化(気候変動)
  - ① 京都議定書(第一約束期間2008-2012)終了
    - ・H12年排出量基準年1990年比6.5%、5カ年平均で1.4%増加
    - ・京都メカニズムクレジット+森林吸収で基準年比8.4%減少
  - ② 新たな枠組みづくり、COP21(2030年排出削減目標)に向け
    - ・2020年目標:25%削減を撤回、排出量を2005年比3.8%削減
    - ・H27/6/2政府:COP21に向け日本の2030年排出量目標決定
- 生物多様性保全
  - ① 2010年:COP10/生物多様性条約第10回締結国会議開催
    - ・名古屋議定書採択、愛知目標の合意→着実な推進と土台作り
  - ② 生物多様性国家戦略2012-2020策定、関連法令整備など



東日本大震災及び原発事故に伴う放射性物質汚染への対応



- 地域社会の変化・動向
  - 少子高齢化の進行 ○ 人口減社会・高齢化社会への対応
- 地域社会の自立
  - 地域自治 ○ 地域資源の創出 ○ ひと・まち・しごと創生法
- 協働社会の構築
  - 地域の課題・資源の共有 ○ 環境教育・環境保全活動の促進
- 自然災害からの安心・安全確保、減災への取組推進
  - 東日本大震災、原発事故に伴う放射性物質汚染、気候変動等

環境基本計画策定に係る最近の主な課題等

- 【自然共生社会の構築に向けて】
  - 生物多様性保全・持続可能な地域再生
    - 生物多様性基本法及び生物多様性地域連携促進法に基づく取り組みの推進
    - 愛知目標の実現に向けた取組
    - 多様な自然環境の保全・再生
    - 自然とのふれあいの増進、他
  - 地域自然資産の保全・持続可能な利用
  - 農業の多面的機能の発揮
  - 地域の歴史的風致の維持・向上
  - 健全な水循環の確保
- 生活環境(健康・安心・安全の確保)
  - 生活環境(健康・環境リスク)への対応
    - 大気・水・土壌環境の保全(PM2.5等)
    - 放射性物質による環境汚染への対応
    - 環境リスクへの対応(化学物質等)
  - 空き家・空き地、耕作放棄地の管理
    - 空家対策の推進、空き地・耕作放棄地の管理
  - 気候変動リスクの軽減(適応策)
    - 避けられない地球温暖化への適応
    - 水環境・農業・食糧、自然災害、健康被害
    - 生態系保全(動植物の生息域北上等)、他
- 【循環型社会の構築に向けて】
  - ごみの減量・資源化
    - 小型家電リサイクル法
    - リサイクルに比べ遅れている2R促進
    - ごみ処理の広域化
    - 災害時廃棄物処理対策
- 【低炭素社会の構築に向けて】
  - 地球温暖化対策計画(国)及びストップ温暖化埼玉ナビ(県)との連携
  - 温室効果ガス排出抑制(緩和策)
    - 2020年目標:2005年比3.8%削減
    - 2030年目標:2013年比26%削減
    - 省エネでの削減分21.9%
  - 省エネ・創エネ・蓄エネの推進
    - エコライフ等省エネ行動の推進
    - 再生可能エネルギー利用の普及(バイオマス活用、未利用エネルギー等)
    - エネルギーマネジメントシステムの推進
  - 低炭素型まちづくりの推進
    - 都市のコンパクト化・ネットワーク化
    - 低炭素型交通政策の推進
    - 都市の低炭素化の推進
    - スマートタウン、建物省エネ対策、他
    - ヒートアイランド対策、クールシェア等
- 【協働社会の形成に向けて】
  - 環境教育・環境保全活動の促進に向けて
    - 協働のネットワークづくり・推進組織
    - 協働の取組展開、活動への参加の促進・普及
    - 環境教育・環境学習の促進
    - 環境情報の提供・発信、取組の成果の発信等

北本市総合振興計画

- ☆ 第四次総合振興計画・後期基本計画(～H27)
- ★ 第五次総合振興計画【H27年度策定予定】
  - 基本構想、前期基本計画の策定中
  - 将来像、まちづくりの方向、実施計画等

第二次北本市環境基本計画策定にあたっての検討事項

- 環境課題の共有  
 環境像や目標、取り組み方針の共有
- 望ましい環境像について
    - 新たな時代に向けた環境像
    - 見直しの必要性?
  - 長期的な目標について
    - 新たな課題への対応
    - 見直しや追加等の必要性?
  - 施策の方向について
    - 新たな課題への対応
    - 施策の役割分担(総合計画等との連携)
    - 施策(取組)の方向・役割分担の明確化
- 環境基本計画への理解の向上  
 環境基本計画で進める内容の明確化
- 環境基本計画が果たす役割について
    - 環境基本計画の目的・役割の明確化
  - 第二次計画で進める取り組みについて
    - 重点的取組の明確化?
    - (仮称)協働プロジェクト設定の必要性?
    - 総合計画や関連計画との分担の明確化
  - 市民・事業者との役割分担について(計画の実現に向けて何をすればよいのか)
    - 市民協働のあり方、計画への反映など
  - 環境教育・環境学習、交流
- 計画の推進、進行管理に向けて
- P D C Aのあり方について
    - 事業の進捗管理、指標等の設定?
  - 計画推進の情報提供について
    - 主体別環境配慮指針
    - 土地利用・開発事業等環境配慮指針

第二次北本市環境基本計画の構成検討

関連計画の策定状況  
 (H20年度以降の主な計画)

- ★ 一般廃棄物処理基本計画【H27改定予定】
- ☆ 第7期分別収集計画 H25.3
- ☆ 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)H26.3
- ★ 緑の基本計画【H27年改定中】
- ☆ 都市マスタープラン H21.3
- ☆ 生涯学習推進計画 H26.3
- ☆ 観光基本計画 H26.2 など

環境基本計画の進捗状況(施策への取組状況や主な課題)

- 自然性の高い水辺の創出や市街地内の緑化、雑木林や野生生物等の実態調査などの取組が進んでいない。生物多様性への取組が課題
- 大気や水質等生活環境は改善傾向。光化学オキシダントやPM2.5、化学物質、放射性物質などの広域的な環境問題、リスク対策が課題
- ごみの減量・資源化は進んできているが、リサイクルに比べて2R(リデュース、リユース)の遅れ。ごみの広域処理が課題
- 省エネや創エネの取組が進められてきたが、家庭部門でのCO2排出量が増加。2030年国の削減目標の達成が課題
- 情報提供や協働が進められてきているが、今後幅広い市民の参加と交流、環境教育や環境学習の展開が課題